



令和5年2月1日発行

No.10



## ごあいさつ

県母子部会長 岩下晴美

新年を迎え皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年度より母子部会長となりました岩下と申します。至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、いちご一会とちぎ国体が開催され、コロナ禍からの回復の兆しが見え始めたところでした。

しかしながら、またもや感染拡大それに加え物価高騰と、ひとり親家庭の皆様は不安を抱えているのではないのでしょうか。皆様がお互いに支えあい親睦を深める活動を展開されることにより、自立の手助けとなり大きな励みとなります。

子供達の笑顔に救われ活力となります。

皆で力をあわせ頑張りましょう。

最後になりますが「栃木県ひとり親家庭福祉連合会」の発展と皆様の健康を祈念してご挨拶いたします。

### 夢を応援基金

## 「ひとり親家庭支援奨学金制度」



全母子協とローソングループが力をあわせ、ひとり親家庭の生徒さんを応援する「給付型奨学金」です。

- ◇奨学金額 月額3万円（返還不要、他の奨学金と併用可）
- ◇対象者 中学3年生、高等学校等1年～3年生
- ◇募集人数 全国400名（申請書、作文・面接等の選考により決定）

2022年度 栃木県では、5名の奨学生が給付を受けています。



2023年度は、2月中旬頃 募集内容が発表されます。

※詳細については、全国母子寡婦福祉団体協議会のホームページで確認してください。



## 頑張ってます！

各市町母子会の活動状況や頑張っているお母さん、子どもたちを紹介します。

### \* 栃木市 \*

♥ 栃木市ひとり親家庭福祉会に入会し、私達にとって初めてのイベントとなったカラーサンド作り。弟は初めて作るカラーサンドに「どんなのを作ろう」と想像を膨らませる反面「落ち着いていられるかな」「もし上手に作れなかったらどうしよう」と不安や心配を抱えていました。しかし、「上手に作れなかったとしても、心が込められていればもらった人は嬉しいんだよ」という母の言葉に弟の不安や心配は吹き飛んだようです。

そしてやってきたイベント当日。弟は慣れない作業に集中して取り組んでいました。弟はガヤガヤしているところがあまり好きではありません。しかし、その中で真剣な顔をしてカップに砂を入れていくその姿は、弟が少しずつ、確実に成長していることを私に教えてくれました。作っている最中のことを母に話している時の誇らしげな顔を私はきっと忘れないでしょう。

弟が一生懸命に作った「世界に一つだけのカラーサンド」は、今も机に飾られていて、弟がお世話をしています。このイベントを通して私は様々なことに気づけました。それらの「気づき」を大切に、家族を支えられるよう役立てていきたいです。（古河 蘭）

♥ 今回、私達家族にとって初めてのイベント。申し込みをしてから、皆様とお会いできる事を楽しみにしていましたが、長女の夢である防大のオープンキャンパスの日とかさなってしまう、知人に私のかわりになって頂き、次女と長男が参加させて頂く事ができ、また、たくさんのお土産も頂き、とてもうれしかったようでした。長男の発達障害という事でイベント等はいつも私と一緒に参加しなくては…とと思っていましたが皆様の見守り、声掛けによりパニックにならず作る事ができました。

私が帰宅し色々話を聞き、子供たちの成長を感じることができました。

会長さんをはじめ役員の皆様、お忙しい中、色々と考えて頂き、本当にありがとうございました。（古河 佐知子：母）

### \* 那珂川町 \*

♥ 昨年好評につき2回目のステンドグラス教室を行いました。

今回はお母さん達だけの参加です。

色とりどりのガラスを組み合わせてハンダごてで合わせていきます。みなさんとっても素敵な写真立てやキャンドルホルダーにオーナメントを完成させました。

8月の暑い日でしたが、里山の廃校のステンドグラス教室で自然の涼しい風を感じながら楽しい時間を過ごしてリフレッシュする事ができました。（石川 美奈子）



### \* 壬生町 \*

♥ 令和4年度、壬生町ひまわり会では、6月に加入促進事業として、毎年恒例となっている「いちご狩り」を実施しました。そして、町の広報を見て参加してくれた親子が会員となってくれました。1組ではありますが本当にありがたい事です。

次に、11月20日には親子交流事業として「クリスマス多肉寄せ植えワークショップ」を実施、先輩会員の皆様のご協力のもと、既に母子会に加入している親子の中に新しく会員になってくれた親子も参加してくれて楽しい時間を過ごせたと思います。帰りには参加してくれたお子さん1人1人にショートケーキをお土産に持ち帰って頂きました。



クリスマスシーズンにも入っていたので、ひと足早いですが、クリスマス気分にもなっていただけではないかと思っています。

コロナ禍の中ではありましたが、十分な感染対策のもとに実施することが出来、子ども達や会員皆様の笑顔に触れる事が出来たことは、大成功だったと思います。（石川 由美）



### \* 佐野市 \*

♥ 12月18日(日)、クリスマスケーキの材料（スポンジケーキ・苺・ホイップクリーム）を全会員に配布しました。例年ですと、希望者を募ってケーキ作りをするのですが、未だコロナ禍にあり関根会長の提案を受けて今年度はこのような形をとりました。



普段はなかなか行事への参加が難しい会員も受け取るだけならと来ていただけました。短い時間でしたが、タイミング良く来て下さり密になることなくスムーズに渡すことができました。また、初対面の会員や2年ぶりに顔を会わせた会員もいて、少々雑談も交えて無事に終わることができました。

コロナの収束を願いつつ、今後も会員の皆様に喜んでいただけるような活動を続けていきたいです。（小林 加奈江）





## \* 鹿沼市 \*

♥ リンゴ狩りにみんなでいきました。初めて会った人もいましたが、一緒にリンゴを採ったりできたのでよかったです。ろまんちっく村に戻ってからリンゴのピザを作りました。

ピザにリンゴが合うのか、少し不安でしたが、出来上がったピザはとても美味しかったです。コロナ禍で外出することが減っていたので、とても楽しく1日が過ごせました。(葉月)



♥ 初めてのリンゴ狩りだったけど、コロナで出かけられないなか、おいしそうなリンゴを採ったり、リンゴのピザを作ったりできてよかったです。とても楽しかったです。リンゴのピザが意外とおいしかったです。他のフルーツでもやってみたいです。また、いちご狩りなど他のフルーツも採って食べてみたいです。

学びの家では、算数を勉強していて、解らないところがある時に悩んでいると、先生達が「大丈夫ですか?」「わかりますか?」など話しかけてくれるので、本当は手を挙げて聞かなくちゃいけないけど「わかりません。」って正直に言いやすいです。でも、ちゃんと



手を挙げて「わかりません。」と、言えるようにしたいです。英語は、先生との会話が中心で、わかりやすい質問してくれるから、答えやすく楽しく英語を学んでいます。(結月)

♥ コロナ禍で久しぶりに皆さんと外出したので子供達も楽しそうに過ごしていました。ピザも美味しく家族全員大満足でした。(石塚)

## \* 下野市 \*

♥ 下野市ひとり親家庭福祉会の会員交流会を令和4年10月30日(日)に参加者8名で行いました。嬉しいことに新会員の親子3人が参加してくれました。会員のお孫さんの顔も見えます。

マイクロバスに乗り込み出発です。「こんなにのんびり車から景色見るの初めてだわ」と言い、赤や黄色に色づいた木々、たわわに実る柿の木、遠くの山々をながめているうちに宇都宮のりんご園に到着しました。

りんご園のお兄さんに美味しいりんごの見分け方採り方を教えてもらいりんご狩りの始まりです。7・8m位あるかと思われる木に真っ赤なりんごが沢山なっています。はしごは有りましたが高い所のはあきらめて手のとどく高さのりんごを目移りしながらもひとつふたつと袋の中へ。いつの間にか袋はいっぱいになりました。お気に入りのりんごを抱えて嬉しそうな子供達、皆の笑い声が響き渡ります。両手に重たい袋を下げてりんご狩りは笑顔のうちに終わりました。

次に行ったろまんちっく村で昼食を取り、食後何しようかと相談していた所「いちご一会とちぎ国体」にちなんだクイズラリーを開催している事を知り、子供の「やりたい」の一言に背中を押され挑戦する事にしました。広いろまんちっく村を北へ南へ西へ東へと走りまわり問題を解いていきます。むずかしい問題を皆で力を合わせ解いた答えは全問正解でした。ごほうびにもらった割引券で買った冷たく甘いソフトクリームは最高に美味しかったです。いい汗かいて充実した時間を過ごせました。

帰りのバスではDVDを見て楽しみ、会員交流会は無事終了しました。

今回の会員交流会は子供達の参加により活気ある会になり、会員全員が助け合い協力してくれたお陰で交流が深まり意義の有るものとなりました。

P.S. バス旅行は良いですね。仲良くなった運転手さん、ありがとうございました。(田口 茂子)

## \* 那須塩原市 \*

♥ 十数年前に離婚をして、生活のことや不安なことを那須塩原市役所の子育て支援課に相談をしており、職員の方から母子会のことを紹介していただきました。

当時は暗い気持ちでいることが多く、気が滅入ることがありました。そのこともあり、初めて母子会に参加した時はとても緊張しましたが、母子会の会長や母子会の役員の方々が笑顔でとても優しく声かけしてくださり、我が子にも明るく優しく接してくださり、とても楽しく過ごすことができました。

それから何度か母子会の開催される行事に参加させていただきましたが、どの行事も子供が楽しめるような企画で、母子会の皆さんがいかに子供を第一に考えているかがうかがえます。

行事の中で、他の子供さんやお母さんが声を出して笑う姿を母子会会長と母子会の役員さん達が本当にうれしそうにされます。その光景を見るのが私の楽しみでもあります。

また、母子会の役員の方と会話をしてお子育のこと等を聞き、参考にさせていただきます。

母子会に入るきっかけを与えていただいた那須塩原市役所の子育て支援課の職員の方、母子会会長、母子会役員の方々にとっても感謝しています。本当にありがとうございます。(相馬 千恵子)







## ひとり親家庭サポーターのつどい

R4・11・13(日)

### いざというときに役立つ救急講習会

～ 救急車が来る前に～



令和4年11月13日(日)パーティ・ホールに於いて、ひとり親サポーターのつどいが「いざという時に役立つ救急講習会 ～救急車が来る前に～」と題し開催されました。

宇都宮西消防署宝木分署の救急隊の方々にお越しいただき、応急手当てに必要な基礎知識のほか、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの使用法、気道異物の除去、止血法など、DVDの鑑賞と実演での説明を受け指導していただきました。

いざという時、知識や経験が少ないと、動揺してしまい何もできなくなってしまうことも少なくはないと思います。それが命に関わることとなると尚更のことと感じました。救急車が現場に到着するまでに、全国平均約9分。正しい「応急手当」の方法を身につけ、家族の命はもちろん、救命に役立てられるよう、定期的に学び直しいざという時に備えたいと思います。YouTubeなどでいつでも見ることが出来ますので、活用しやすいです。

「#7119」救急安心センター

急なケガや病気をした時に、救急車を呼ぶべきか、すぐに病院に行くべきか、判断に迷った時に専門家からアドバイスが受けられる相談窓口です。私も知らなかったひとりですが、今回教えていただき知っておくことも心強いですね。

会員さんからの積極的な質問に、サポーターのつどいは有意義な時間となりました。

(さくら市 H.E)



「ぶちとまと」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

令和4年度学習支援事業は、赤い羽根ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーンの助成を受けて実施しております。

消防署員の方が救急出動があった為に、岩下母子部会長の挨拶の後DVD鑑賞となりました。間もなく消防署員の方が到着され、蘇生法、気道異物除去、止血法の説明があり、2名が消防署員の説明の元、蘇生法の実演を行いました。

最も大切な事は「救命リレー」とのこと。「蘇生、救急車を呼ぶ、病院に搬送」救急車要請に迷ったときは「#7119」全国共通に連絡をすると救急司令官が指示してくれるとのことでした。

蘇生法を身につけ、いざという時に一人でも多くの方の為にいつでも協力できるよう、今回の講習を頭にたたきこみ対応出来るよう心がけたいと思っております。

今回の講習の内容を知人に周知しましたところ「私も受講したい」と言われました。貴重な講習会に受講させて頂きありがとうございました。

(足利市 大野 寿美子)



## 編集後記

昨年は42年ぶりの国体、いちご一会とちぎ国体でしたね。

天皇陛下御夫妻もおいでになり、久しぶりの行動制限なしの国体、ブルーインパルスも迫力があり会場をわかれましたね。

選手の頑張りと共に魅力あふれる栃木県を全国に発信できたのではないのでしょうか。

さて、ぶちとまとも10号目になりました。ウイズコロナが続きますが、これからも皆さんの楽しい投稿おまちしています。

